

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
化学基礎	2	2	新編 化学基礎 (東京書籍)	新課程 ニューアチーブ化学基礎 (東京書籍)

評価の観点	到達目標および評価の内容
a 知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
b 思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
c 主体的に学習に取り組む態度	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
評価の方法	
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画											
前期						後期					
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点		
			a	b	c				a	b	c
4	2	1 編 化学と人間生活 1 章 化学とは何か		○	○	11	14	2 章 酸と塩基		○	
5	8	2 章 物質の成分と構成元素	○	○		12	14	3 章 酸化還元反応		○	○
6	10	2 編 物質の構成 1 章 原子の構成と元素の周期表	○		○	2	2	終章 化学が拓く世界		○	
7	6	【前期中間考査】 2 章 化学結合		○		3					
8	14	3 編 物質の変化 1 章 物質量と化学反応 【前期末考査】	○	○							
9											
10											
											計 70

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・教科書、副教材等は毎回持参し、身だしなみを整え、状況に応じた態度で授業を受けること。
- ・授業は基本的に HR 教室で行う。特別教室で実施する場合には、事前に指示をする。
- ・積極的に問題演習に取り組むこと。特に、授業で扱った問題に関しては、繰り返し復習することが大切です。
- ・一部、発展的内容として3年生で開講される化学の内容を扱います。